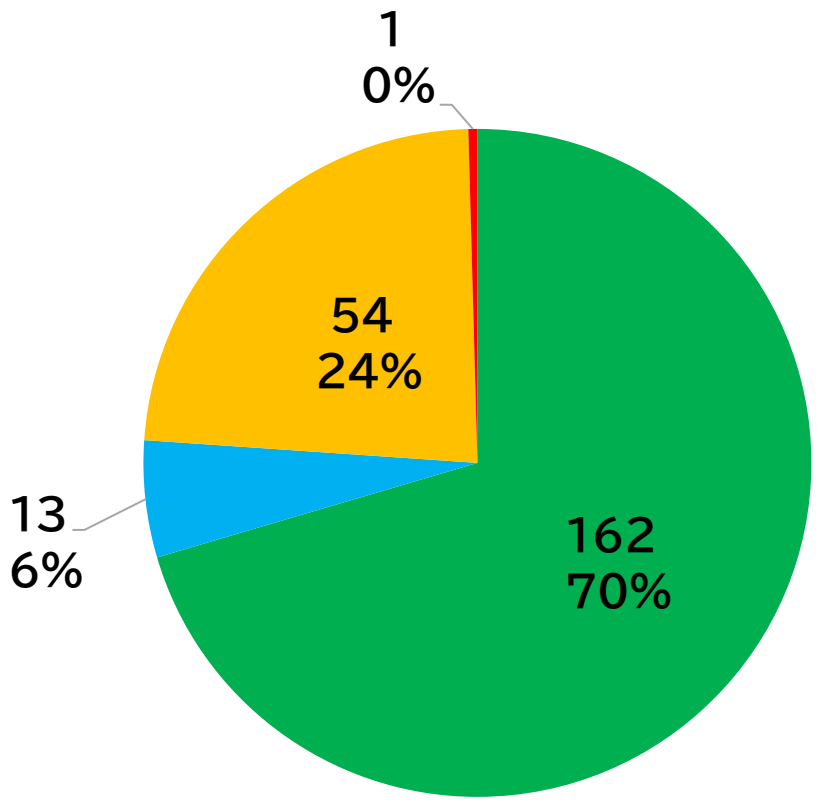
大学教育カンファレンスin徳島

直近8年間の研究発表(口頭発表、ポスター発表;230件)の
内容、分析データ・資料、考察・分析方法のまとめ

回	年度	日程	実施方法	口頭発表	ポスター発表	参加者数
第14回	2018	2018年12月26日	対面	14件	18件	147名
第15回	2019	2019年12月26日	対面	15件	14件	124名
第16回	2020	2021年1月8日	オンライン	15件	14件	167名
第17回	2021	2022年1月7日	オンライン	16件	12件	215名
第18回	2022	2022年12月27日	オンライン (一部対面)	18件	8件	157名
第19回	2023	2023年12月26日	対面 (一部オンライン)	16件	10件	142名
第20回	2024	2024年12月26日	対面 (一部オンライン)	16件	15件	161名
第21回	2025	2025年12月26日	対面 (一部オンライン)	16件	13件	138名

研究代表(第1発表者)の職種

(N=230)



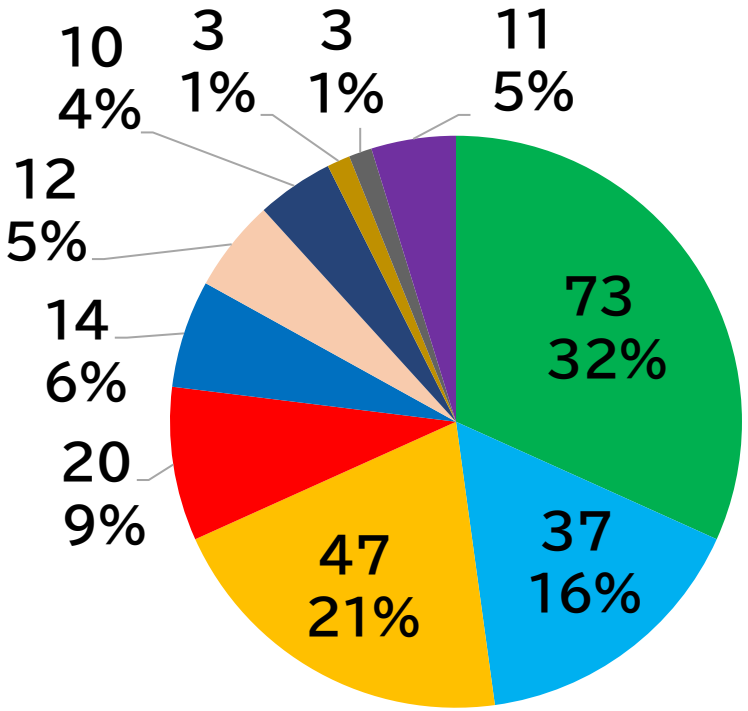
70%は**教員による発表**であるが、
24%は**学生・大学院生が発表**しおり、
職員による発表も存在する。

■教員 ■職員 ■学生・大学院生 ■その他

※グラフの数値は、上段は人数、下段は割合を示している

発表する教育実践の内容

（N=230）



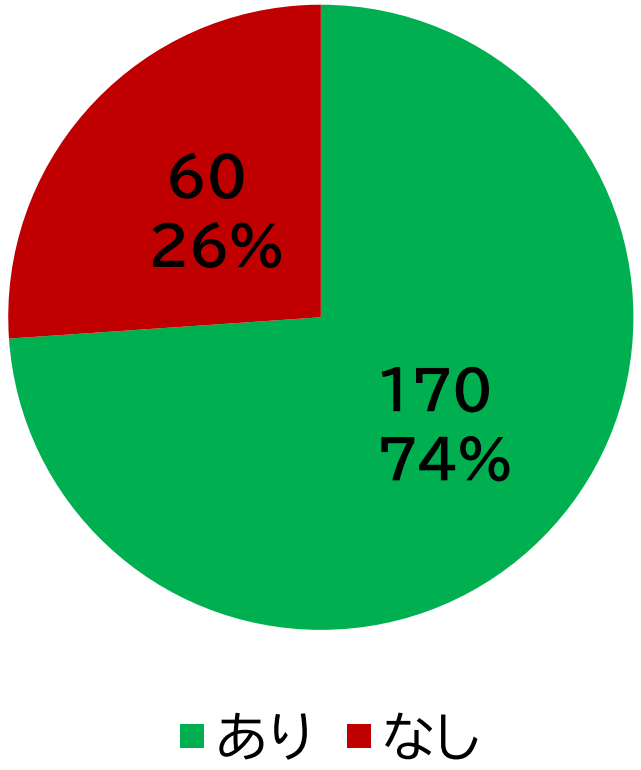
- ✓ 48%（約半数）が、**授業・実習**（32%）や**教育プログラム**（16%）の実践である
- ✓ 21%は、**学生による課外活動**に関する内容である
- ✓ 次いで、**調査研究**（9%）、**公開講座・出張講義等**（6%）と続く

■授業・実習
■教育プログラム（準正課含む）
■学生による課外活動
■調査研究
■公開講座・出張講義等の講習会
■FD・プレFD・教育改革
■教材開発
■学習支援
■レビュー研究
■その他

※グラフの数値は、上段は人数、下段は割合を示している

データによる検証、先行研究・資料等のレビューの有無

（N=230）

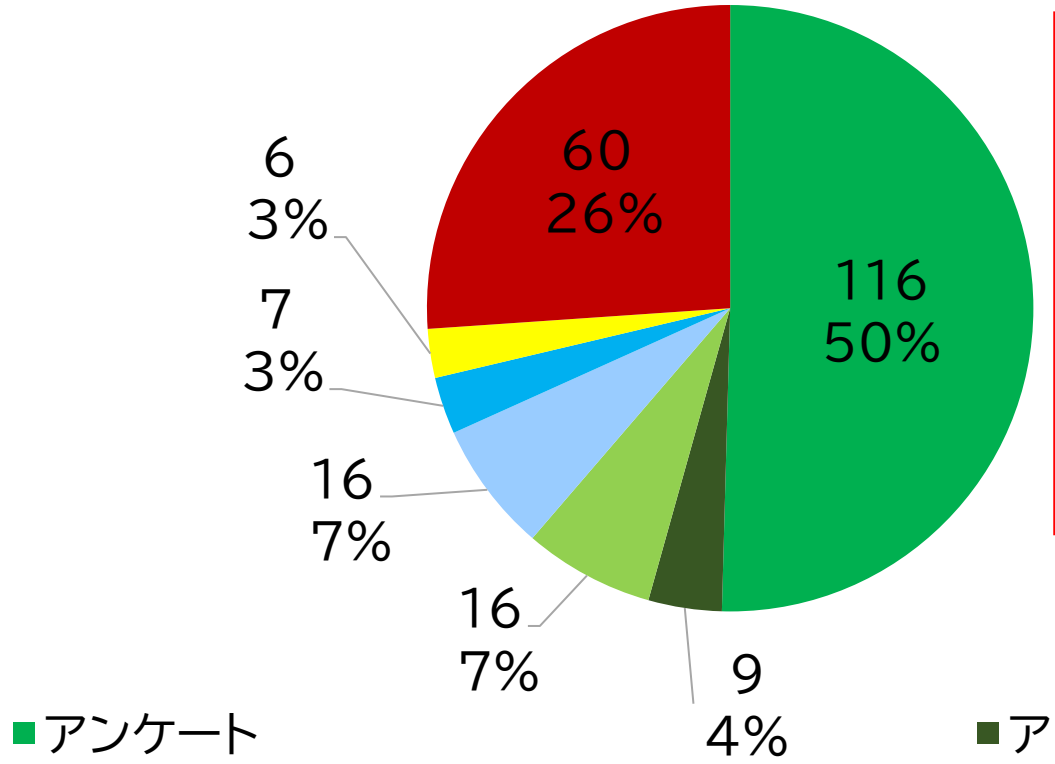


約4分の1の発表は、データによる検証、先行研究・資料等のレビューがなく、発表者の考えに基づいて考察している。

※グラフの数値は、上段は人数、下段は割合を示している

発表に使用したデータ、先行研究・資料等の内訳

（N=230）



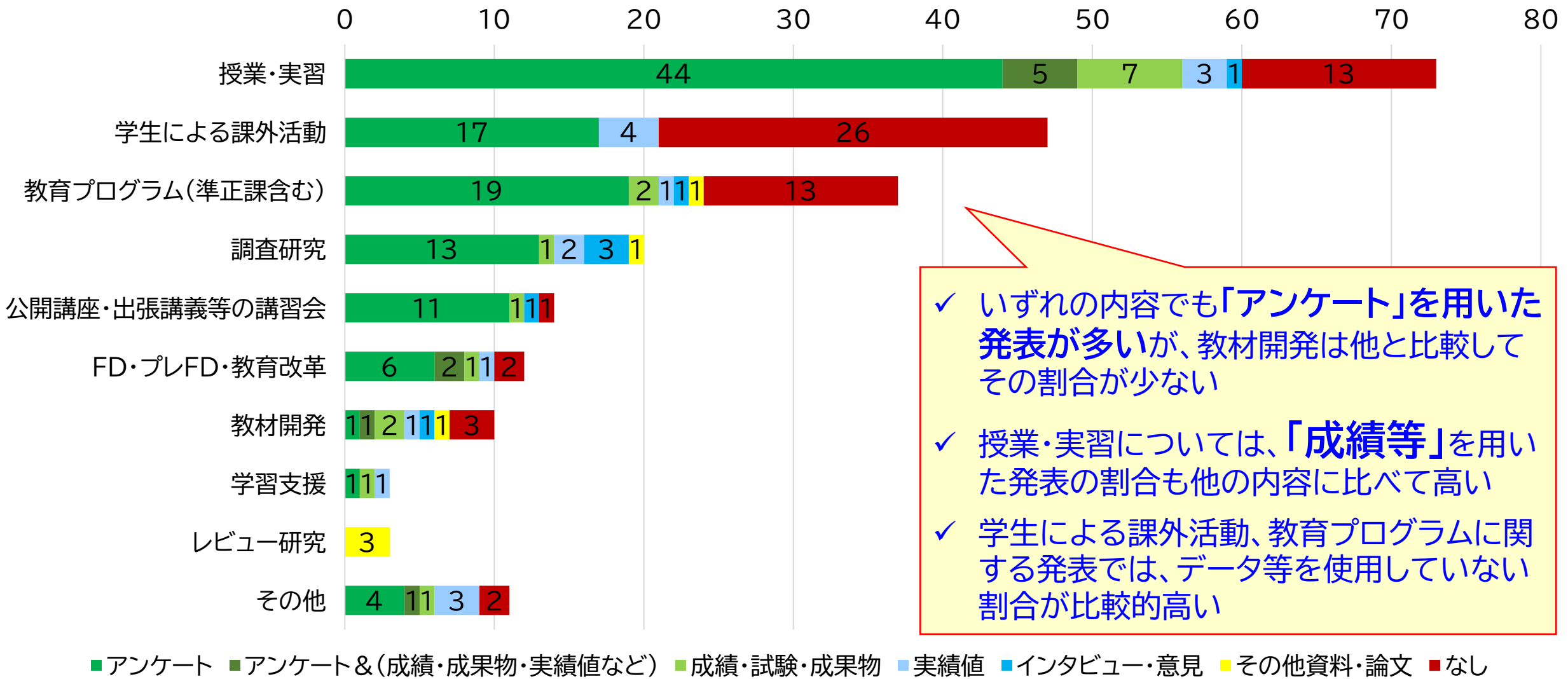
- ✓ 54%の発表で**「アンケート」**を実施して分析している（成績・成果物・実績等との併用含む）
- ✓ 10%の発表で（授業等の）**「成績・試験・成果物」**を使用している（アンケートとの併用含む）
- ✓ イベント等の**実績値**を用いた発表も8%存在している（アンケートとの併用含む）

※グラフの数値は、上段は人数、下段は割合を示している

■ アンケートの併用（9件）の内訳
- ✓成績・試験・成果物：7件（約3%）
- ✓実績値：2件（約1%）

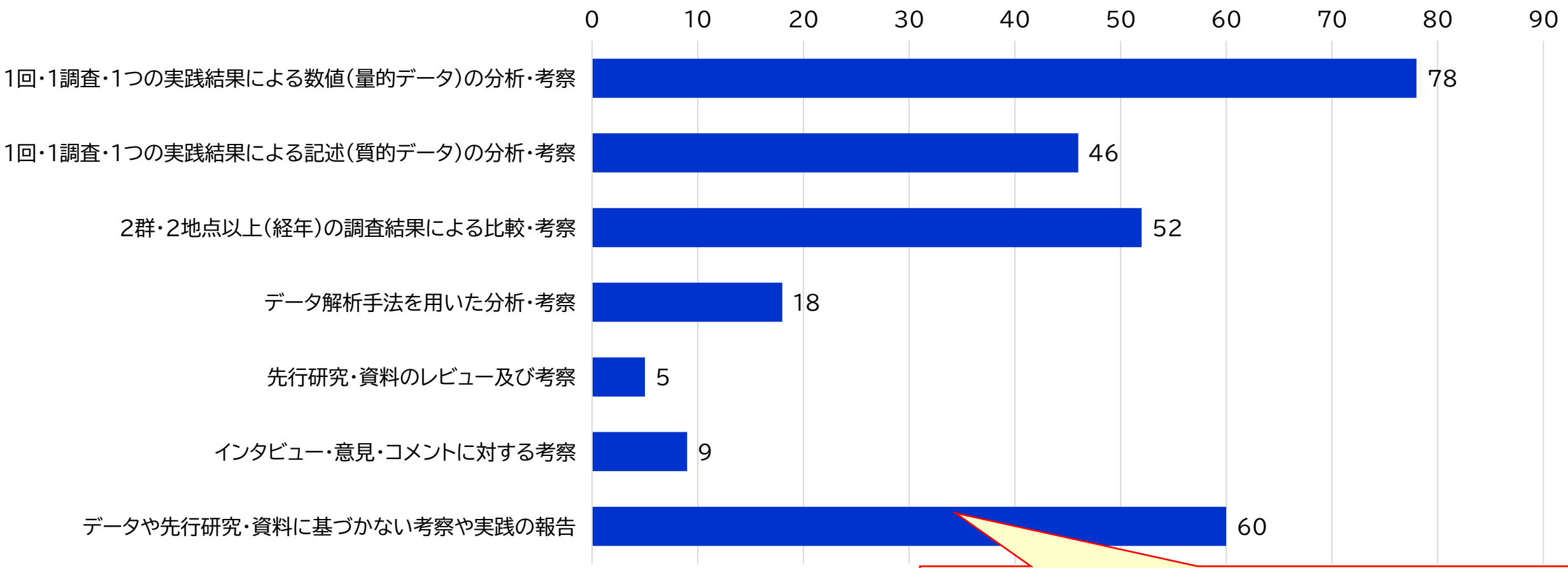
発表内容別の検証データ・資料等の内訳

（N=230）



- ✓ いずれの内容でも**「アンケート」を用いた発表が多い**が、教材開発は他と比較してその割合が少ない
- ✓ 授業・実習については、**「成績等」**を用いた発表の割合も他の内容に比べて高い
- ✓ 学生による課外活動、教育プログラムに関する発表では、データ等を使用していない割合が比較的高い

考察・分析の方法の内訳(複数カウントあり)



※複数の方法を用いるなど、重複してカウントしている発表が含まれている
※調査結果とは、アンケートの回答・成績・実績データ等である
※データ解析手法は、推測統計による分析を含む(記述統計のみによる考察は含まない)

- ✓ 124件(約53%)が、**1回・1調査・1つの実践**による検証である(量的・質的合わせて)
- ✓ 52件(約23%)は、**2群・2地点以上(経年)**の調査による検証である